

誰もが参画できる「しくみづくり」

誰もが自由に社会参画できるとともに、社会のさまざまな制度や基準、情報・サービスの提供の方法について、UDの視点から見直していきます。

神戸市のホームページでは、ほぼ全ページで音声読み上げ対応がされています。また、文字の大きさや背景色、言語が変更できるなど、より多くの人にとって利用しやすく改善されました。



「こうべ・だれでもトイレ」は、車いす・オストメイト対応設備や大型多目的シートまたはベビーシートを標準装備とし、さまざまな方に配慮・工夫された多目的・多機能トイレです。下のシンボルマークが目印です。



しあわせの村

北区にある総合福祉ゾーン「しあわせの村」では、市内の施設に先駆けて「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」をまとめるなど、UDへの取り組みを積極的に行っています。



一人ひとりを大切にする「意識づくり」

ユニバーサルな社会を実現するためには意識づくりが最も大切。すべての人が社会の一員としての役割を持ち、持てる力を発揮するため、おたがいに認めあい、支えあい、思いあう心を持って行動しましょう。

身の回りにある“困った”に気づこう！

みなさんはどんなときに「困ったなあ」と思いますか？
ひとりひとりの「意識(心がけ)」で誰もが安心して暮らせる“やさしいまち”になっていきます。
下のイラストで考えてみましょう！

